

研究課題「下側壁誘導 J 波を有する J 波症候群における心室細動基質に関する多施設共同研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2014 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの間に、当院および共同研究機関で診療された下側壁誘導 J 波を有する J 波症候群の心室細動患者

2. 研究目的・方法・研究期間

下側壁誘導 J 波を有する J 波症候群は特発性心室細動を主徴とする疾患であり、器質的心異常や他の病態を原因としない心室細動による突然死の原因として知られています。心室細動の既往例および心停止からの蘇生例に対しては、埋込型除細動器(ICD)が必要です。しかし、心室細動を繰り返し生じた場合には ICD 作動を頻回に認めてしまうため、心室細動を抑制する治療が必要となります。心室細動の契機となる心室期外収縮（トリガーPVC）や、心外膜側の不整脈基質に対するアブレーションが心室細動の再発を抑制しうるということが報告されています。しかし、その不整脈基質の詳細な部位や電気生理学的特徴に関しては不明な点が多いのが現状です。本研究では、過去に診療された患者様の診療情報を使って、トリガーPVC の心電図波形、カテーテルアブレーションを施行された場合には術中の電気生理学的特徴、予後について調査することを目的とします。

研究期間は実施承認日から 2025 年 12 月 31 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

過去の診療記録から下記の項目を調査します。

- ・ 患者背景（年齢、性別、発端者／家族）、家族歴、症状の有無（失神や心室細動など）、遺伝子異常の有無、既往歴、手術歴（心臓カテーテル治療を含む）、現病歴（内服薬についても含む）、埋込型除細動器植え込みの有無、心エコー（左室駆出率、左室径、弁膜症の有無など）、心臓 MRI 所見、12 誘導心電図所見（洞調律中および心室細動の trigger となる心室期外収縮）
- ・ アブレーションを施行している場合、術中の電気生理学的所見（心外膜アプローチ施行の有無、低電位領域の有無、異常局所心筋電位の有無、ピルジカイニド投与に対する反応など）
- ・ 来院時と治療後の内服薬、治療後経過と転帰など

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関から当院データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的配信により行います。対応表は、各共同研究機関の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

主導研究機関名・研究責任者：

筑波大学附属病院 医学医療系 臨床医学域 循環器内科 野上昭彦

共同研究機関・研究責任者：

昭和大学病院、河村光晴

旭川医科大学病院、佐藤伸之

名古屋大学医学部附属病院、因田恭也

大垣市民病院、森島逸郎

新潟市民病院、保坂幸男

横浜南共済病院、鈴木誠

横浜労災病院、小和瀬晋弥

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学 因田恭也

住所：〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-741-2111

研究代表者：

筑波大学附属病院 循環器内科 野上昭彦